

平成30年度国語科 《第3学年》年間指導計画

杉並区立杉森中学校

担当（合田淳郎）

国語科 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

文字を正しく整えて速く書くことができるようになるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる。

国語科 第3学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて自分の意見や考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、自分なりの意見をもって、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。
- (4) 身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的な文字を書く態度を育てる。

■は、国語への関心・意欲・態度、 ■は、話す・聞く能力、 ■は、書く能力、 ■は、読む能力、 ■は国語についての知識・理解・技能

★は言語活動例

□ 年間指導時数 学習指導要領の配当時間：105 時間

話すこと・聞くこと 15 時間 書くこと 20 時間 読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質 60 時間 書写 10 時間

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価方法	小学校との関連
4	高瀬舟 春に	3時間	文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。(読(1)ア)(伝国(1)イ(1)) 文章を読んで筆者の自然や人間、言葉などに対する思いを捉え、自分の意見をもつ。(読(1)エ)	■ 表現の仕方などに注意しながら読み、人間、自然、言葉などについて自分の考えをもとうとしている。 ■ 「朝焼け」と「八歳の少女」が表現していることからや表現上の工夫から筆者の思いを捉え、それに対する自分の意見をまとめている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	生きる(6年)

5	握手 食競 5時間	月の起源を探る 4時間	<p>文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開の仕方を捉えて評価する。(読(1)ア・イ・ウ)(伝国(1)イ(イ))</p> <p>科学的なものの見方や研究方法を知り、それについて自分の考えをもつ。(読(1)工)</p>	<p>筆者の論理の展開に注意して、種々の仮説を読み取らせる。</p> <p>小見出しや図の役割、効果などについて理解させる。</p>	<p>感覚描写などを表す言葉や比喩表現に気付き、その使われ方に注意して読んでいる。</p> <p>すすんで文章を読み、論理の展開や内容を理解しようとしている。</p> <p>図と本文との対応を確かめながら筆者の論理展開を読み取り、そこに表れる筆者の科学的なものの見方や研究方法について自分の考えをもっている。</p> <p>論理展開を読み取るうえで重要な漢語を指摘し、意味を調べている。</p> <p>作品を読み、作品の表現、登場人物等について、自分なりの考えを深めようとしている。</p> <p>作品の表現や展開の仕方、内容について、自分なりに観点を決めて批評している。</p> <p>作品に使われている言葉や表現に着目して読んでいる。</p> <p>「論語」を読んで、内容に親しんでいる。</p> <p>脚注を参考に語句の意味を捉えて、漢文の言い回</p>	<p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p> <p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p> <p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p> <p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p> <p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p>	生き物はつながりの中に (5年)
		学びて時にこれを見習ふ—「論語」から	作品に用いられた言葉やエピソードから、表現の工夫、場面や登場人物の設定の仕方などを捉え、作品を理解する。(読(1)ア・イ・ウ)(伝国(1)イ(イ))	登場人物の生き方や考え方を基に、人間や社会、自分の生き方について考えさせる。	wらぐつの中の神様 (5年) カレーライス (6年) やまなし (6年)		
			作品に描かれた登場人物の生き方や考え方から、人間や社会に対する自分の意見をもち、作品を評価・批評する。(読(1)工)	登場人物のエピソードや言葉に着目して読み、作品を理解させ、小説を批評する。(読(2)ア)	論語 (5年)		

6	<p>2時間 評価ながら聞く 1時間</p> <p>相手や目的に応じたスピーチをする 4時間</p> <p>1時間</p>	<p>考え方の意見をもつ。(読(1)ア・工) 「論語」の古典における位置付けを知り、「論語」に親しむ。(伝国(1)ア(ア))</p> <p>自分の考え方と比較し評価しながら相手の考え方を聞き、自分のものの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。(話聞(1)ウ)</p> <p>情報を集め整理して、話す内容を決める。(話聞(1)ア) 話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりする。(話聞(1)イ・ウ)</p> <p>熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。(伝国(1)イ(イ))(伝国(1)ウ(ア))</p>	<p>意見をもたせる。 「論語」の古典における位置付けを知り、「論語」に親しませる。</p> <p>議題を決めて話し合い評価しながら聞く練習をさせる。</p> <p>情報を整理して、話す内容を決めさせる。 話す相手や目的を意識して、資料を活用したり話し方を工夫したりさせる。</p> <p>教材文を読み、様々な熟語の読み方について理解させる。 練習問題に取り組ませる。</p>	<p>しに注意して読み、孔子の考え方をだいたい理解している。 筆者の人生観を読み取り、自分の生き方について考えている。 「論語」の古典における位置づけを理解し、内容に親しんでいる。</p> <p>相手の考え方と比べながら聞き取り、自分の表現に役立とうとしている メモを取り、自分と相手の考え方を比較し評価しながら整理している。 言葉の意味や使われ方に注意して聞いている。</p> <p>話題に沿って相手にわかりやすく話をしようとしている。 情報を取捨選択してスピーチの話題を決めている。 場面や目的、相手に合った話し方をしている。 声の調子や敬語の使い方に注意して話している。</p> <p>熟語の読み方を理解しようとしている。 熟語の成り立ちや、音読み・訓読みを確かめながら読んでいる。また、示された熟語以外の例を挙</p>	<p>定期考查</p> <p>授業観察 ワークシート</p> <p>授業観察 発表</p> <p>授業観察 ノート ワーク 定期考查</p>	<p>よい聞き手になろう (3年)</p> <p>「平和」について考える (6年)</p> <p>漢字の音と訓 (3年)</p>
---	---	---	--	---	--	--

	身の回りの文字を調べよう 2時間	身の回りには、場面や目的に応じて様々な文字が使い分けられていることを理解することができる	写真の中から文字を探し、身の回りには様々な文字があることを知る。 身の回りの文字を集め、それらがどのような場面や目的で使われているかを考える。	関 図	げ、理解を深めている。 意欲的に写真の中の様々な文字を探そうとしている。 身の回りには様々な文字があることを理解している。	授業観察 ワークシート	
	「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう 2時間	語句の使い方に気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り、情報発信の意義と注意点について考えを深める。(読(1)ア・エ・オ)	現代メディアの特徴を知り、情報発信の意義と注意点を考えさせる。	関 読 図	文章を読んで、社会や人間について自分の考えをもとうとしている。 現代メディアの特徴や情報発信の意義と注意点を読み取り、自分の日常生活と結びつけて考えようとしている。 外来語の使われ方に注意して読んでいる。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	ゆるやかにつながるインターネット(5年)
	和語・漢語・外来語 1時間	和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしていく。(伝国(1)イ(1))	和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解させる。	関 図	和語・漢語・外来語の使い分けを理解しようとしている。 和語・漢語・外来語のそれを理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	和語・漢語・外来語(6年)
	俳句の可能性 俳句を味わう 3時間	筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しむ。(読(1)ア・ウ)(伝国(1)イ(1)) 感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。(書(1)ア)	筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しませる。 語句の使い方や表現の仕方を工夫して俳句を作らせる。 好きな俳句を選び分かりやすく理由を述べる。	関 読 図	俳句の形式に興味をもち、表現上の特徴を生かして俳句を作ろうとしている。 俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 語順や表現の仕方に注意	授業観察 ノート ワーク 作品 定期考査	声に出して楽しもう(3. 4年) 俳句を作ろう(6年)

	読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと? 1時間	定、表現の仕方などから文章を評価し、自分の考えを広げたり深めたりする。(読(1)ア・イ・ウ・エ・オ) (伝国(1)イ(1))	交流させる。 読みたい本や作家を挙げ、今後の読書生活について考えさせる。 読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えさせる。	読 圖 閱 圖 閱 圖 讀 圖	広げたりしようとしている。 表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分のものの見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。 難しい語句や表現について理解しながら読んでいる。 デザイナーの文字に対する考え方について、関心をもって読もうとしている。 デザイナーの文字に対する考え方を知り、効果的な文字の使い方について理解している。 詩を読み、作者のものの見方や考え方について自分なりに考えようとしている。 表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、現実の世界の在り方と対応させながら自分の言葉で説明している。 語感を磨き語彙を豊かにしている。	授業観察	
	デザイナーと文字 1時間	デザイナーの文字に対する考え方を知り、効果的な文字の使い方について理解することができる。	「デザイナーと文字」を読んで、デザイナーの文字に対する考え方を知り、効果的な文字の使い方について理解する。	圖 閱 圖 閱 圖 圖 圖	授業観察		
	挨拶 2時間	比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。(読(1)ア・ウ)	表現の特色に注意して読み、作者の考え方について自分の意見をもつ。	圖 圖 圖 圖	授業観察 ノート ワーク 定期考查		
8 9	読書紹介スピーチをする 3時間	本の良さについて紹介をする。(話聞(2)ア)	課題に沿って本を読み、伝えたい内容に合わせて引用して紹介させる。	閱 話	題材を適切に選択し、わかりやすく伝えようとしている。 本の内容とおもしろさを	授業観察 発表	モチモチの木 (3年)

10	文章の形態を選んで書く 魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する 4時間	内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。(書(1)ア・イ) 書いた文章を読み返し、文章構成や表現、紙面の体裁を整える。(書(1)ウ)	取材メモをもとに紙面構成を考え、選んだ文章の形態に合った表現の工夫をさせる。	図 わかりやすく話している。 関 本の良さを表す言葉を選んでいる。 書 自分が書く文章に合った形態を選び、進んで文章を書こうとしている。 図 内容に合った文章の形態を選び、素材の配置など、紙面構成を工夫している。 図 文章を読み返し、形態に合った文章構成や効果的な表現になるよう、紙面の体裁を整えている。 関 選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。	授業観察作品
	故郷 6時間	表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。(読(1)ア・イ・ウ) 時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。(読(1)工)	作品から人間と社会について考え、自分の意見をもたせる。 情景や人物を描写している表現に着目して、作品を読ませる。	関 作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。 讀 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。 図 作品に出てくる漢語などから語感を磨き、語彙を豊かにしている。	授業観察ノート ワーク定期考查
	推敲して、文章を整える 1時間	書いた文章を読み返し、文章全体を整える。(書(1)ウ)	課題文を推敲し、読みやすく、分かりやすい文章にする観点を押さえさせる。	関 文章を推敲してよりよいものにしようとしている。 書 示された観点に沿って文章を見直し、文章全体を整えている。 図 漢字や語句を正しく使う	授業観察ノート 海の命（6年） わらぐつの中の神様（5年）

	新聞の社説を比較して読もう 3時間	社説を読み、主張や論理の展開、表現のしかたを捉える。(読(1)イ) 一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。(読(1)ウ) 構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。(書(1)ア・イ)	二つの社説を読み比べて、内容や表現を整理し、主張や論理の展開のしかたを評価させる。 論理の展開を工夫して意見文を書かせる。	閲 讀	二つの社説を読み、主張や論理の展開の違いに目を向けようとしている。 構成や展開、表現のしかたなど観点に沿ってまとめている。 内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、自らのものの見方や考え方を広げている。 社説をもとにテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見文を書いている。 新聞で用いられる言葉の特徴を捉えている	授業観察 ノート 作文 定期考査	新聞を読もう (5年)
	慣用句・ことわざ・故事成語 1時間	慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。(伝国(1)イ(イ))	教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語を理解し、日常生活の場で使いこなせるようにさせる。	閲 讀	慣用句・ことわざ・故事成語について理解しようとしている。 慣用句・ことわざ・故事成語の意味を調べて、適切に使っている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	「ことわざブックを作ろう」「知ると楽しい『故事成語』」(4年)
	漢字の造語力 1時間	漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア))	教材文を読み、漢字の造語力について理解させる。 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめさせる。	閲 讀	漢字を組み合わせてできる造語に興味をもとうとしている。 漢字の造語力について理解している。	授業観察 ノート ワーク	
	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 1時間	比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部部分を音読し、古典の世界に親しむ (読(1)ア) (伝国(1)ア)	歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して、古文の言葉の響きやリズムを味わわせる。	閲 讀	「仮名序」冒頭部分の内容に興味をもちすすんで音読しようとしている。 古人が「和歌」をどのようなものとして捉えていたかを理解している。	授業観察 ノート ワーク 暗唱 定期考査	声に出して楽しもう (3. 4年)

		(ア)				
君待つと 一万葉・古今・ 新古今 覗	2時間	歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。(読(1)工)(伝国(1)ア(ア)) 語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意しながら、それぞれの和歌を読み味わう。(読(1)ア・ウ)	現代語訳を参考に、「和歌」にはどのような力があると考えられていたかを理解させる。 作者の心情や情景を読み取らせる。 和歌の効果的な表現や語句の使い方を捉えさせる。	古文のリズムを意識しながら音読している。 それぞれの和歌集に興味をもち、和歌に表れた古人の心情や情景に現代語訳を基に想像しようとしている。 和歌の表現技法や語句の使い方に気付いて読み、感想をもっている。 現代語訳を基に和歌を讀んでいる。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	
夏草一「おくのほそ道」から 4時間		歴史的背景を想像しながら「おくのほそ道」を読み、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。(読(1)工)(伝国(1)ア(ア)) 語句の効果的な使い方や表現の仕方、文体の特徴に注意して読み味わい、古典に親しむ。(読(1)ア・ウ)	歴史的背景などを想像し、作者のものの見方や感じ方を読み取せる。 作品を表見の仕方や文体の特徴に注意して読み味わせる。	俳句に込められた芭蕉の思いを考えようとしている。 作品の表現や文体の特徴に注意しながら読んでいる。 歴史的背景を踏まえながら作品に親しみ、芭蕉のものの見方について考えている。 歴史的背景を踏まえながら作品を読んだり、古典の一節を引用した文章を書いたりして、古典の世界に親しんでいる。	授業観察 ノート ワーク 暗唱 定期考査	声に出して楽しもう（松尾芭蕉） (4年)
古典を心の中に 1時間		古典作品について書かれた文章を読み、古典の世界に親しむ。(読(1)才)(伝国(1)ア(ア))	古典作品について書かれた文章を読み、心の中に古典をもつことによって、世界を深く広く見られることを理解させる。	古典のさまざまな作品に関心をもとうとしている。 古典には人の姿やさまざまな世界が描かれていることを理解している。 古典の知識に触れ、その	授業観察 ノート	

1 1	<p>作られた「物語」を超えて 4時間</p> <p>話し合いを効果的に進める 1時間</p> <p>課題解決に向けて話し合おう 社会への提案をまとめる 5時間</p>	<p>筆者の考え方を表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。(読(1)ア・イ・ウ) 筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。(読(1)工)</p> <p>話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。(話聞(1)工)</p> <p>社会生活の中から話題を決め、説得力のある話をし、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。(話聞(1)ア・ウ) 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方や言葉遣いを工夫</p>	<p>筆者の挙げた事例の意図を考えさせる。 論理の展開に注意し、筆者の主張を要約させる。 要旨に対する自分の考えをもたせる。</p> <p>それぞれの意見の共通点と相違点を確認し、論点を整理させる。 話し合いの目的や方向性を踏まえて、話し合いの展望をもたせる。</p> <p>注意して話し合いの進行をさせる。 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ、提案をさせること。</p>	<p>関 読 世界に親しんでいる。 教材文に興味をもち、自分の考えを広げようとしている。 語句や論理の展開、表現のしかたなどについて自分なりに評価している。 読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。 比喩的に用いられている言葉の意味に気づいている。</p> <p>関 話 圖 話し合いの進め方などについて考えようとしている。 話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。 話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。</p> <p>関 話 圖 自分が取り組みたい課題を考えようとしている。 社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して話し、聞き取ったことから、自分のものの見方や考え方を深めている。 課題解決に向けて、互いの考えを生かし合っている。 話し合いという場を意識</p>	<p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p> <p>授業観察 ノート</p> <p>授業観察 発表</p>	学級討論をしよう (6年)
--------	--	--	--	--	---	------------------

		し、課題の解決に向けて互いの考え方を生かし合う。(話聞(1)工)(伝国(1)イ(ア))		し、適切な言葉遣いをしている。			
1 2	観点を立てて分析する 1 時間	社会生活の中から課題を決め、観点を立てて分析し考え方を深める。(書(1)ア)	挙げられている例を評価する場合の観点を考えさせる。	関 図 言 関 図 言 関 図 読	進んで課題に取り組み、観点を立てて分析しようとしている。 挙げられた例を観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりしている。 批評するときの言葉を使っている。 社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にして批評文を書こうとしている。 分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いていく。 友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。 自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使い分けている。 進んで朗読し、詩の世界を味わおうとしている。表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、	授業観察 ワークシート 授業観察 作文 授業観察 ノート ワーク 定期考查	
	説得力のある文章を書こう 批評文を書く 5時間	社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考え方を深める。(書(1)ア) 論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってものの見方を深める。(書(1)イ・工)	批評文に必要な要素や書きかを理解させる。 社会生活の中から関心のあることを選び、文章構成や資料の引用箇所を工夫して、批評文を書かせる。			この絵、わたしはこう見る (6年)	
	初恋 1 時間	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などに	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読させる。 語句や表現に込められた意味を読み取り、自分の意見			詩を楽しもう (5年)	

	<p>文法 「ない」の違いが わからない? 2時間</p> <p>エルサルバドル の少女 ヘスー ス 読書コラム 読 書記録をつける 読書案内 1時間</p> <p>楷書か行書を選 んで書き初めを 書く 7時間</p>	<p>について考え、自分の意見をもつ。(読(1)ア・工)</p> <p>2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。(1年伝国(1)イ(I)) (2年伝国(1)イ(ウ)(I))</p> <p>目的をもって本を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。(読(1)工・才)</p> <p>目的や必要に応じて、楷書で書く場合と行書で書く場合があることを理解する。(伝国(2)イ)</p>	<p>をもたせる。</p> <p>「文法のまとめ」の問題に取り組ませる。</p> <p>登場人物の生き方や考え方、筆者の写真や取材方法について話し合わせる。読書記録について考えさせる。 今後読みたい分野や作家を挙げさせる。</p> <p>目的や必要に応じて楷書と行書を選択して書くとよいことを理解させる。 楷書か行書を選び、書き初めを書かせる。</p>	<p>図 関 圖 関 讀 圖 関 圖</p>	<p>自分の状況と照らし合わせながら説明している。文語特有の表現を味わい、語感を磨いている。</p> <p>三年間の文法学習を振り返り、苦手な箇所を克服しようとしている。文節の区切りや品詞の違いについて理解している。</p> <p>自分の読書生活に関心をもち、読書について話し合ったり本の幅を広げたりしようとしている。ヘスースの生き方などに着目して読み、人間の生き方や社会の在り方について考えている。比喩など、特徴的な表現に着目し、語感を磨いている。</p> <p>さまざまな場面で書かれた楷書と行書を比べている。 目的や必要に応じて、楷書で書く場合と行書で書く場合があることを理解している。</p>	<p>授業観察 ノート 定期考査</p> <p>授業観察 ノート</p> <p>授業観察 作品</p>	
1	誰かの代わりに 3時間	現代社会の可能性や困難、自分の生き方について考え、意見をもつ。(読(1)工) 文脈における語句の効果的な使い方や表現の	抽象的な語句に着目して論理の展開を押さえさせる。 現代社会や生き方に対する自分の考えを持ち話し合わせる。	関 讀	現代社会の特徴を知り、可能性や困難、自分の生き方について考えようとしている。 筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自	授業観察 ノート ワーク 定期考査	

		工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。(読(1)ア・イ)		自分の意見をもっている。抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え、内容を理解している。文章中の抽象的な語句に興味をもち、意味や類義語などを調べている	
わたしを束ねないで 1時間		詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。 (読(1) ア・ウ・エ)(伝国(1)イ(1))	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもたせる。	言 闇 讀 言 闇 讀 言 闇	授業観察 ノート ワーク 定期考查
長文読解 2時間		文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。 (読(1)ア・イ・ウ)	3年間の長文読解のまとめとして問題に取り組ませる。	闇 讀 言 闇	授業観察 問題プリント
2 漢字のまとめ 1時間		2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。(伝国(1)ウ(ア))	2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れさせる。	闇 言	授業観察 ノート

3	三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う 5時間	三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。(書(1)ア・イ・エ) 自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価し合ってものの見方や考え方を深める。(話聞(1)ア・ウ)	三年間の学びを生かして、三年間の思い出をまとめて発表させる。	関 書 話 圖 関 圖	中学校三年間の学習を振り返り、自分の学びを冊子にまとめようとしている。 三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、冊子の構成を工夫している。 冊子の内容を生かして発表し、評価し合って自分の表現に役立てたり、ものの見方や考え方を深めたりしている。 適切な言葉を選び、友達の作品を評価している。 和歌に親しみ競技力を高めようしている。 和歌のリズムを味わいながら内容を楽しんでいる。	授業観察 発表	
	小倉百人一首 2時間	競技カルタの方法を知り、和歌に親しむ。(伝国(1)ア)	有名な和歌や著名な歌人の歌に触れさせ、日本の文化に親しませる。		授業観察	「かるた」 (3年)	